



●図書館コンシェルジュ、デビュー

学生の学びをサポートする学生

学部1回生から院生まで、異なる学部所属する9名

より使いやすく。学生の視点で図書館を改善



図書館で浮かぶ様々な疑問・質問の窓口になります

この本はどこにある?

レポートの下調べはどうしたら?

パソコンの使い方が分からない...

キャメル色のエプロンを見かけたら、
気軽に声をかけてみてください。



◆Contents◆

<トピックス>

図書館コンシェルジュ、デビュー
図書館リテラシー講習会
スケジュール(10-12月)

<お薦め図書>

「錯視入門」

<つぶやきライム>

ジェダイに学ぶ、調査の心得



2010・第64回 読書週間

気がつけば、もう降りる駅。

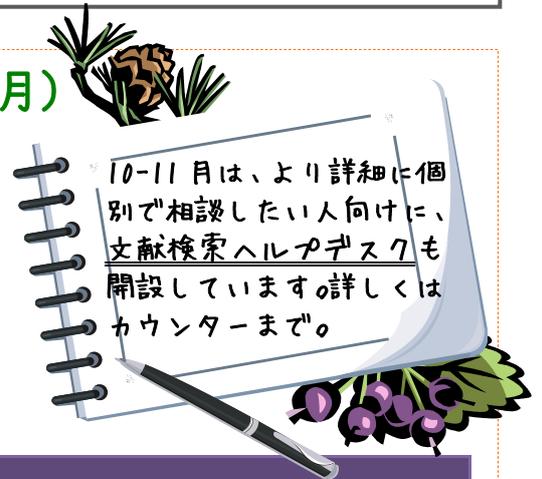
10/27 ~ 11/9



●図書館リテラシー講習会スケジュール(10-12月)

そろそろ島大に慣れてきた人も、ようやく卒論に向けて動き始めた人も、どんどん学びを深めておきたい人も、つねづねレポートに悩まされている人も、図書館で講習会を受けてみませんか?

講習会では論文やレポートの作成に欠かせない、資料の探し方や便利なツールの紹介を行っていきます。10月から12月にかけては7種類の講習会を開催。2回行うものはどちらか一方、都合のよい方に参加してみてください。参加方法は簡単。事前に申込書をカウンターまで提出してください。みなさんの参加、お待ちしております。



10月			
1	【初級】図書の探し方	13日(水)	14:30-15:30
2	【初級】日本語雑誌論文を探す-CiNiiをやさしくマスター-	20日(水)	
3	【中級】自然科学の雑誌論文を探す-JDreamIIで英文も一括検索-	22日(金)	13:30-14:30
4	【中級】文系の雑誌論文を探す-Web of Scienceで海外の論文を検索-	29日(金)	
11月			
1	【初級】辞書系データベース-JapanKnowledgeを使う-	4日(木)	
2	【初級】新聞記事の探し方	5日(金)	
3	【中級】参考文献リストの管理-Refworks入門-	8日(月)	
4	【初級】日本語雑誌論文を探す-CiNiiをやさしくマスター-	10日(水)	13:30-14:30
5	【中級】自然科学の雑誌論文を探す-JDreamIIで英文も一括検索-	12日(金)	
6	【中級】参考文献リストの管理-Refworks入門-	17日(水)	
7	【初級】新聞記事の探し方	19日(金)	
8	【中級】文系の雑誌論文を探す-Web of Scienceで海外の論文を検索-	24日(水)	
12月			
1	【初級】辞書系データベース-JapanKnowledgeを使う-	1日(水)	13:30-14:30

<お薦め図書>

『錯視入門』

北岡明佳著

「北岡明佳の錯視のページ」では
たくさんの錯視を楽しめます。

<http://www.ritsumeai.ac.jp/~akitaoka/>



図1 ミュラー・リヤー錯視

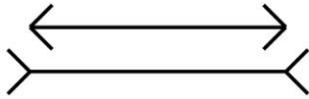
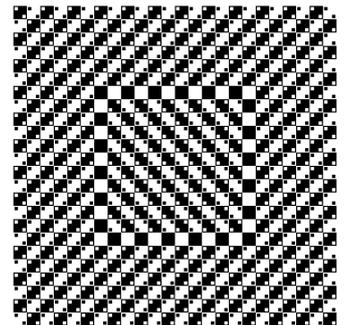


図1、上下に引かれた線分の長さは実際には同じなのですが、矢羽根の向きによって長さが違って見えます。また図2は「トランポリン」という題名がついた図形で、中央部分が動いているように見え、全て正方形なのに四角が傾いて見えます。このような目の錯覚を「錯視」と呼び、海外では熱烈な錯視愛好者がたくさんいるそうです。日本でもここ何年かで少しずつ錯視ファンが増えてきています。本書では、このような錯視が解説付きでたくさん紹介されています。専門用語も多いのですが、カラー図による錯視を眺めているだけでも十分に楽しめます。

心理学などの教科書では常連のミュラー・リヤー錯視。錯視には実にたくさんの種類があります。同じものが違って見えたり、止まっているものが動いて見えたり、光って見えたり、消えたように見えたり。人間って、どうしてこうも簡単に騙されちゃうんでしょうね(目の錯覚に限った話ではないですが…)

また錯視はだまし絵(トリックアート)との共通点も多く、マグリットやダリ、エッシャーといった作家が好きな方も楽しめるのではないのでしょうか。錯視を眺める面白さはもちろん、こんな不思議な現象を引き起こす人間の脳への興味も高まります。普段自分が見ている世界、その世界を見ている自分自身を、ちょっと違った角度から眺めなおすきっかけになるかもしれません。(Y田) [145.5/Ki72 本館・1F新館閲覧室] ※現在は新着コーナー

図2 「トランポリン」北岡明佳の錯視のページより



<http://www.ritsumeai.ac.jp/~akitaoka/motion.html>
(access:Sep.25,2010)

《関連するおススメ》

- アル・セッケル著『錯視芸術の巨匠たち：世界のだまし絵作家20人の傑作集』
いろんな作家の作品を見たいという方はこちら。(本館・2F大型本 708.7/Se13)
- 池谷裕二著『進化しすぎた脳：中高生と語る「大脳生理学」の最前線』
最近流行りの脳科学ですが、最新の研究成果を分かりやすい言葉で、かつ面白く述べた快著です。(本館・2F文庫/新書 408/B94/1538)

<つばやきライム(8)~図書館職員のメッセージリレー~>

ジェダイに学ぶ、調査の心得

言わずと知れた洋画『スターウォーズ』。図書館職員になろうかジェダイになろうか迷ったというのは過言ですが、今でもジェダイの格好よさに心躍ります。ちなみにジェダイとは映画の中の銀河の正義と平和の使者達のことです。

その『スターウォーズ』のワンシーンです。一人のジェダイがある星の調査のために中央図書館を訪れましたが、資料が見つかりません。そこで職員に訊いてみると「If an item does not appear in our records, then it does not exist.」と言い放たれます。記録にないということはその星自体存在しないということだなんて、皆さん信じられますか。日記や写メで残ってないならば昨日夕飯食べてない、なんてことないですよ。そう考えると、記録に残らないコトというのはなんと多いことでしょう。またジェダイが探し

ていた資料は、実は何者かに削除されていたことがこの後判明します。情報というのはなんと移ろいやすいものなのでしょう。

されども我々がジェダイはこれしきの事ではあきらめません(銀河の平和がかかっていますからね)。この星について情報通の知り合いに訊き、複数の資料を組み合わせ考察し、該当する星は確かにどこそこに存在すると推察した上で、実際に行ってみて確認までしました。このように、調査には様々な方法があります。なので一つの資料・方法でつまずいても、あきらめずに邁進することが肝心です。ただすぐにジェダイのように出来るはずありません。まずは多くの資料・方法を知り、実際に利用する中で上達していく必要があります。上述の職員のように突っぱねたりせずに、私たち附属図書館職員もお手伝いしますので…。調査マスターになれるかどうかは一人ひとりの精進次第です。May the force be with you. (kori)



(みいなちゃん)

夏休みも終わって、いよいよ新学期に突入ね!どの授業を取ろうかしら。



(けんさくくん)

卒業予定の人はそろそろラストスパートだね。僕も論文の執筆に向けて講習会を受けておこうかな。



(ライム博士)

図書館では新しく、図書館コンシェルジュがデビューするよ!資料の検索の仕方や館内での探し方を気軽に聞いてみよう。



(みいなちゃん)

図書館の改善にもコンシェルジュは取り組むんだって。学生のみんが使う図書館だもの。学生の視点でよくしていけたらとっても素敵。



(けんさくくん)

そうなんだ、知らなかった。職員の人に話しかけるのは緊張するけど、コンシェルジュの人なら質問しやすいかも。コンシェルジュさんのこと、友達にも教えてあげようかな。